

北九州市議会議員 市政レポート 大久保むが

かわら版

第五十五号

大久保むが事務所

北九州市八幡西区則松一八二八二〇一
TEL 〇九三二九八〇〇六八〇六
FAX 〇九三二九八〇〇六八〇七
https://www.mugamuga.net/
E-mail yahatanishi@mugamuga.net



武内市長就任後 最初の予算

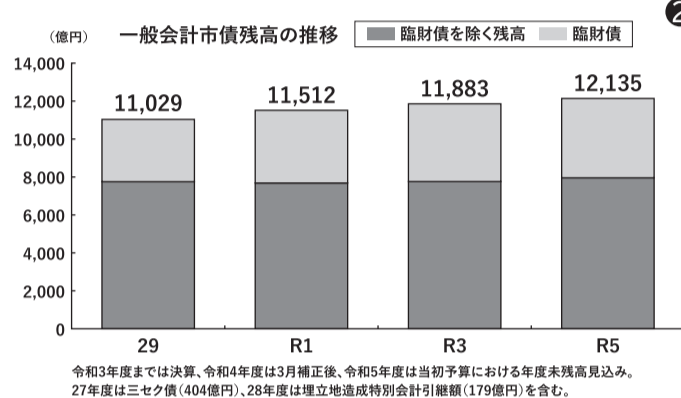
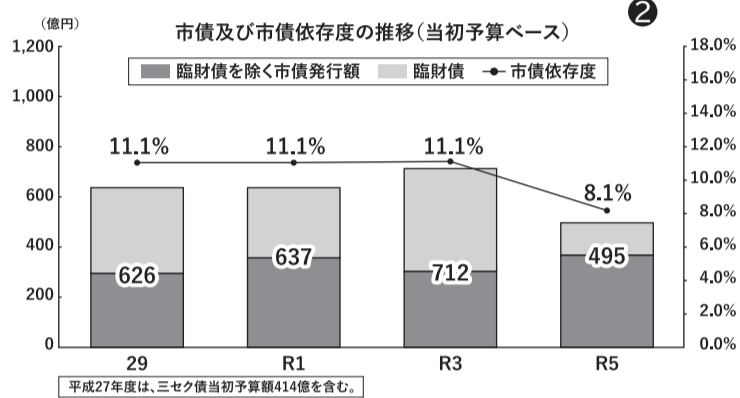
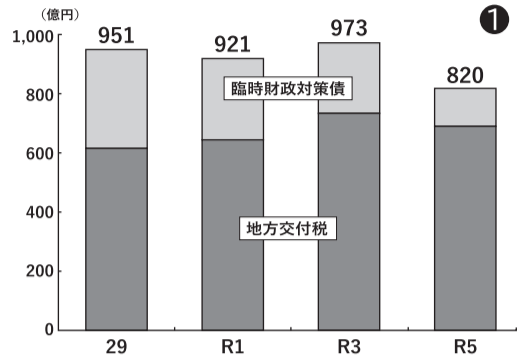
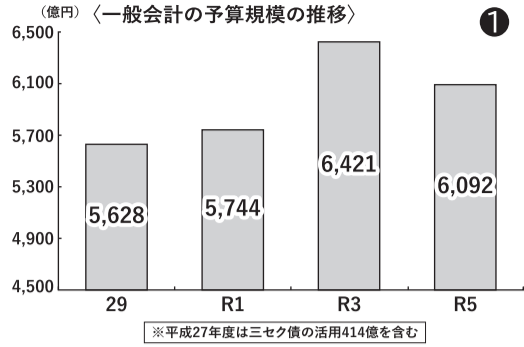
令和5年度 一般会計当初予算 6,091億6,100万円

過去2番目の規模

令和5年の予算審議を行う、6月定例会が終了しました。

北九州市の今年度予算は6,091億6,100万円となり、過去2番目の規模となりました。(1) 投資的経費は146億円の増額となりましたが、これはゴミ焼却場である日明工場の建て替えに伴い計上された66億円が含まれています。

市の財政危機を訴え市長選挙を戦った武内市長最初の予算とあって、注目された市債は対前年比26億円増の495億円となり、市債発行額は過去10年間で3番目の規模となりました。市債残高は対前年比79億円増の7,963億円となりました。(2)



今年度スタートする主な新規事業

◆外国語教育特化型小中一貫教育検討 600万円

世界にはばたき、多様な価値を創造することのできる人材の育成を目指し、外国語教育に特化した特色ある小中一貫教育の実施を検討。

◆ITリカレント教育「everiGo」プロジェクト推進事業 2,800万円

北九州市立大学の求職者向けのITリカレント教育「everiGo」を、求職者のニーズに合わせた3つのプログラムに再編するとともに、伴走型の就労支援など出口一体型のきめ細やかな支援を行うことでDX人材の育成を促進。

◆医療的ケア児支援の強化 8,800万円

医療的ケア児支援法の施行(令和3年9月)を踏まえ、児童生徒が安心して学校生活を送れるようにするとともに、家族の負担軽減を図るため、医療的ケア学校コーディネーターや看護師の配置、通学支援など、医療的ケア児の支援体制を構築。

◆第2子以降の保育料完全無償化 2億7,400万円

家計に与える物価高騰の影響が大きいと見込まれる多子世帯を支援するため、令和5年12月から令和6年3月まで(予定)の第2子以降の保育料を無償化。

※市が直接徴収している保育料収入の減(1億5,300万円)と合わせ、4億2,700万円を支援。

◆新規病児保育の利用料無償化 1,400万円

保護者の勤務の都合、疾病、事故、出産及び冠婚葬祭などやむを得ない事由により、家庭での保育が困難な病児中、病気回復期にある概ね生後3か月〜小学6年生までの児童を一時的に預かる病児保育利用料の無償化を実施。

◆未来産業

〜半導体・宇宙・グリーン〜への挑戦 9,300万円

学術研究都市の大学で行われる最先端の研究をはじめ、半導体・宇宙・EVなどの未来産業の創出に挑戦半導体については、産学連携による研究開発支援や関連企業の誘致、物流の拠点化に取り組む。宇宙については、ビジネス可能性調査や衛星データの活用実証に着手。

◆商店街リノベーション

まちづくり推進事業 600万円

民間事業者のリノベーションまちづくり推進に向けた拠点整備の取組を、本市がイベント開催などソフト面の支援で後押しすることで、官民連携による中心市街地の活性化を推進。

一般質疑に立つ!

6月定例会では武内市長の基本姿勢や市政における課題について議論しました。

●ITリカレントについて

リカレントとは、英語で「現在の」のcurrent(現在)という意味に「e」が付いて、recurrentとなり、「再発」や「循環」といった意味になります。

そして教育という言葉が組み合わせられて、リカレント教育という言葉になり、このリカレント教育とは、学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と教育を繰り返すという意味になります。

本市では2017年から先進的に取り組みを開始し、文部科学省の高度技術人材育成事業や、求職者・IT未経験者向け人材育成プログラムeveriGoなどの取り組みが続けられてきました。

経済産業省によると、2030年に日本のIT人材不足はおよそ41〜79万人に達するとの報告も出されており、IT人材の需要と供給の差がどんどん大きくなっていくとされています。

こうした中で、これまで文部科学省の事業資金のみで賄われていたeveriGoを、本市が「ITリカレント教育「everiGo」プロジェクト」として再編し、今年度予算案で新規事業として予算が計上されました。



企業が地方進出の際に重要視するのは、人材の安定的な確保ができることであるといわれています。そういう意味において北九州市立大学が早くからITリカレント教育に積極的に取り組み、その成果をあげてきていることは、本市の企業誘致にも大きな力となります。

本市がかねてよりいち早くその取り組みを行っていたことが、現在とこれからのIT企業誘致に対して、他都市を大きくリードするための優位性とするために、このITリカレント教育の充実と市としての支援を議会から呼びかけました。

●小中学校や市営住宅など公共物の外壁落下や、維持管理の状況について

今議会では、小中学校や市営住宅からの外壁落下が相次いで発生していることに対して、多くの議員から様々な意見や提案がなされていました。

振り返れば、私は平成25年に国道のコンクリート片落下事故の際に、まさに今後小中学校や市営住宅などのコンクリート片落下の可能性があることを指摘し、そしてそれを防止するために細かな点検や対処について行うよう、本会議で議論しました。

しかし、その指摘は現実のものとなり同じような問いを議会で行わなければならなくなっていました。

この事態を受け市長は5月18日、市民の安全・安心を守る老朽化対策チームをいち早く発足させ、情報発信や今後の予防保全などを検討することとしました。素早い対応を高く評価し、「このようなことを2度と繰り返さないために、小中学校の大規模改修については、時期を前倒しすること、日常からの細かな点検・補修を行うよう、学校に対して少しでも危険

を感じる部分があれば、速やかに老朽化安全チームに報告するようにし、改修に取り組んでいただくことを要望いたしました。

また、市営住宅などは外壁もさることながら、住居内部の劣化、ヒビ割れなども起こっているこの声が寄せられています。学校においては児童生徒、市営住宅においては住民の安全を確保しつつ、不安を払拭することを求めました。

市長及び市執行部の情報漏えい・流出の放置は看過できない！



去る3月定例会において、市の副市長選任をめぐる人事情報が流出し、一部マスコミによって報道されるということが発生しました。

このことについて3月議会では、市長が「人事に関する情報は特に機密性の高いものであり、最大限の注意を払うべき情報でございます。(中略)この事態を受け、情報が漏えいした可能性について速やかに関係職員に聞き取りを行いました。市役所内部から情報が流出した形跡は確認できませんでした。

今後同様の事態が生じることをないよう、関係職員に対しては、改めて特に機密性の高い人事情報の取扱いに当たっては、細心の注意を払うよう指示したところでございます。」と述べ、再発させないよう取り組むことが示されました。

しかし本年5月には、本来25日の議会運営委員会の上程を期日に公表されるべきはずの予算に関する情報が6日も前の19日に一部新聞によって報道されるという事態が発生しました。

今議会では、こうした相次いで発生している情報漏えい・流出について、どのような取り組みを行っているのかについて本会議で質しました。

3月の時点で議会側より、どのような経緯で情報が流出したのか調査して報告を求めたのですが、こうしたことについても報告はおろか、調査すらされていない様子で、マスコミがどのようなところから情報を入手したのか分からないから、という答弁に終始していました。

行政(市)は、私達市民の例えば収入や家族構成、本籍、病歴など個人情報や、企業進出、公共工事や施設委託管理などの計画など、生活や市の予算を使用し業務や仕事などを発注することを担っています。

したがって行政(市)が情報を守るということは、市民を守ることと同義だと考えます。

しかし、今議会のやり取りで明らかになったように、人事や予算の情報などがこのようにマスコミに簡単に漏えい、もしくは流出しているにも関わらず、市役所内部からの情報流出はなかった、市職員に対して情報管理を徹底することを改めて伝えた。などという再発防止策を繰り返す状態で、果たして私たちは市を信頼して情報を預けることができるでしょうか？

情報漏えい・流出の元凶が市職員ではないならば、市の重要情報に市職員以外の第三者が関与している可能性も含めて、徹底的に調査すべきであることを考慮し、情報を盗難されていることに強い危機感を持つべきではないのか、と意見しました。

このような情報管理の状態では、私た

ちの情報が確実に管理されているのか、また市の入札や指定管理など内部情報が公正公平に取り扱われているのか疑わざるを得ません。

せっかく新しい市長の元で、新しい予算編成が行われたにもかかわらず、どのような経緯で情報漏えい・流出がされたのかについて、ほとんど調査をやらずに放置状態を続けている市長をはじめ、市の執行部に対して、情報漏えい・流出の放置をやめ直ちに悪意のある第三者の関与も含め徹底的な調査を行うことを本会議で厳しく意見しました。

今後このようなことが再び発生したり、適切な調査を行わず放置するのであれば、市民の情報を守るために厳しく市に対して向き合っていくかねばならないと考えます。



大久保むが今号の1枚

毎週朝 金曜日に行っている街頭活動で、私と一緒に旗を持って立ってくださる相棒のまさお君です。雨の日も風の日も、一緒に頑張ります！



北九州市議会議員 大久保むがプロフィール

平成6年福岡県立北筑高等学校卒業。平成10年九州国際大学国際商学部卒業後、平成12年から元衆議院議員・北橋健治氏の秘書に。その後、さらなる政治の勉強をするため、平成18年北九州市立大学・法学研究科に入学、政策科学を学ぶ。勉学のかたわら、参議院議員・大久保勉氏の秘書を平成19年まで務める。平成20年3月、北九州市立大学・法学研究科を卒業。同時にヘルパー2級取得。平成21年北九州市議会議員に初当選、総務財政委員会に所属。2期目前半に環境建設委員長に就任。3期目の前半に教育文化委員会。現在は経済港湾委員長。「国民民主党」「立憲民主党」の合流に参加せず現在は無所属。NPO法人「KID's Work」スタッフ。



今号のなぞかけ

議会最終日とかけまして、健康診断とときます。その二つは採決(採血)します。むがつつちです。

大久保むが事務所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松1-8-28-101 Tel 093-980-6806 Fax 093-980-6807
https://www.mugamuga.net/ E-mail yahatanishi@mugamuga.net

